

募集要項

自分自身が持つ課題を見つめ直し深めていくことは「これから」をどう生きていくか、あなた自身の「生き方」を問い直していくことです。
「地球市民」として生きていくことを学びましょう。



21世紀の地球社会に向けて あなたは何を志しますか？

1999 地球市民アカデミア

国際協力・国際教育リーダー「地球市民」塾 第VI期生募集要項

- 共催**
 国際教育協議会
 東和大学国際教育研究所
 東京YMCA国際奉仕センター
- 協力**
 (株)アジア学院
 NGO活動推進センター(JANIC)
 アカデミア・ナッツ
- 会場**
 東京YMCA国際奉仕センター

開催期間

1999年5月～1999年11月
全12回・合宿3回を含みます

募集対象

将来、国際協力や国際教育の分野で活動したいという意欲を持つ人。
原則として全国参加できる人。
18歳以上の人。
他の受講生と協力しながら受講できる人。

参加費用

1,800円(税込)
費用には食費、受講料、3回の合宿費用、資料代などが含まれます。

定員

5名
応募多数の場合は書類による選考をさせていただきます。

募集締切

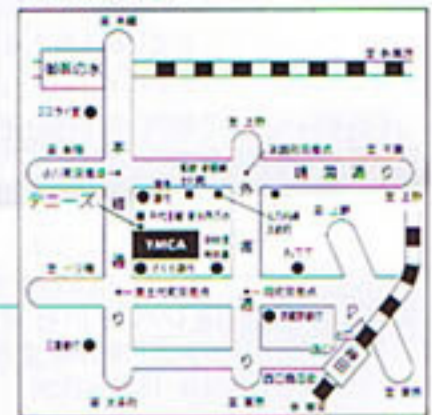
1月12日(月)必着

申込方法

指定の申し込み用紙を記入の上、裏面に「私の考えるこれからの国際協力(または国際教育)」「地球市民とは？」というテーマの中から1つを選んで作文を書き、下記にお送り下さい。合否結果及び参加費用の納入については申し込み後別途ご案内致します。

- JR 神田駅 出口(西口、北口)・お所の丸根 出口(北口)
- 地下鉄 丸の内線 淡路町駅 出口 [A-2/A-4] 千代田線 新大塚駅 出口 [B-5] 都営線 小川町駅 出口 [A-5] 有楽町線 神田駅 出口 [北口]

会場案内図



お申し込み・お問い合わせ 「地球市民アカデミア」事務局

〒101-0033 東京都千代田区神田美土代7 東京YMCA国際奉仕センター
TEL:03-3293-7011 FAX:03-3293-6474

主催団体紹介 「地球市民アカデミア」はこれら3団体の共催事業です。

国際教育協議会

国際教育協議会は、日本における開発教育の推進を目的として1982年に結成された民間の非営利組織です。各地で取り組んでいる開発教育をネットワークし、必要な情報を伝達し、その試みや成功を互いに共有することを役割としています。機関誌やニュースレターの発行、情報センターの設置、全国研究会、ワークショップ、地域セミナーなどの開催を行っています。

東和大学国際教育研究所

東和大学国際教育研究所は、国際問題や地球市民の課題への洞察力と判断力を有する地球市民の養成に関する研究と実践を推進しています。また、国際協力や国際教育の調査研究にも取り組んでいます。1998年1月からは、持続可能な社会づくりのための市民ネットワーク「未来のための教育推進協議会」事務局を担当しています。

東京YMCA国際奉仕センター

YMCAは「青少年の健全育成」「豊かな地球社会の形成」そして「平和な世界の実現」をめざしている青少年団体・社会教育団体です。国際奉仕センターでは、パナマシティYMCA、アメリカ・フロスト・バレーYMCA、中国・北京YMCAとの協力関係を基に、青少年の国際理解を高め、交流・協力活動を行うことなどを目標としています。

協力団体紹介 様々な団体の協力を得ながら、広いネットワークの中で「地球市民アカデミア」は進められています。

アジア学院

アジア学院は、アジア・アフリカ諸国から来た研修生が、農村地域社会の人々の生活向上と安定のために献身しようと、糧の生産の基本、農村生活改善、そしてよりよいコミュニティづくりを生活体を通して学んでいく、農村指導者専門校です。

NGO活動推進センター(JANIC)

地球市民が直面する開発・環境・人権などの人類共通の課題に取り組む市民組織(NGO)の活動支援を目的に1987年に設立。主な活動は、NGO間のネットワークやNGO活動に関する情報の収集及び提供、広報・調査研究、人材育成などを始め、海外NGOとの情報交換及び協力関係の促進などです。

アカデミア・ナッツ

ナッツは「結び目」という意味です。地球市民アカデミアの修了生たちが、それぞれの違った道を歩みながらも、結び付きを続けていこうと組織されたグループです。主な活動としては、ニュースレターの発行、英語学習に基づいた学習教材(「食べ物から世界が見える」等)の開発、地球市民アカデミアの活動支援などです。

「地球市民アカデミア」はこうして生まれました！

貧富の格差の拡大、高まる地球環境への危機感、民族紛争の激化など、世界をめぐる状況はますます深刻化しています。国際協力、国際貢献への関心の高まりとともに、そうした分野での活動を志す人たちがますます増えてきました。「地球市民アカデミア」はそのような人々への新しい学びの場です。

共働学習を通じた新しい学びの場を求めて

従来、講座という形で講義を受けるというイメージがありました。しかし、実際に国際協力、国際教育を実践していくには、知識や情報をただ身にまとうだけでなく、それらをメッセージやアクションに変えていくことが必要です。そのためには、実践や試行錯誤を通じて受講者同士が互いに学び合う場が必要となります。「地球市民アカデミア」は、そんな今までにない新しい学びの場をめざしています。

21世紀の地球社会に求められる人間像を求めて

第三世界への「援助」に対する様々な意見から分かるように、異なった社会状況の中、新しい条件の下に生きる人々と共に生きようとするのは、学問の場におきまざるものではありません。21世紀の地球社会に求められるのは、いわゆる開発途上と言われる国々に生きる人々を、援助や開発の対象として見るのではなく、同時代人と共に生きる人間として理解し合い、共感できる力と感性を持った地球市民なのです。

「地球市民アカデミア」のゴール

この講座が目指すものは、将来国際分野での活動を志す者が、現在の社会状況を正しく理解し、自分自身が社会のために何ができるかを考えることを通じて、自分自身の価値観を問い直し、意識の変容を促していくことです。必要な専門知識や物の見方を学ぶと同時に、国際協力や国際教育に関わる人々の経験に学び、実際にNGOなどを訪問して、現実味のある「国際協力・国際教育」を学びたいと思います。あなた自身が「国際協力、国際教育が必要である」と考え、どう関わりたいのか、また何ができるのかを深く掘り下げることをめざします。さらに、これからの社会を創っていく上で大切な、他者との協力関係の築き方を共に学びます。

「地球市民アカデミア」の流れ



地球市民アカデミア 企画・運営委員

- 赤石 和則 (東和大学国際教育研究所)
- 磯野 昌子 (東和大学国際教育研究所)
- 上田 香子 (東和大学国際教育研究所)
- 上野 真美 (国際教育協議会)
- 関野 彰子 (東京YMCA国際奉仕センター)
- 戸田 京子 (東京YMCA国際奉仕センター)
- 堀口 啓司 (東京YMCA国際奉仕センター)
- 山西 優二 (早稲田大学)
- 湯本 浩之 (国際教育協議会)
- 猪股 謙輝 (地球市民アカデミア第VI期生)
- 木邑 優子 (地球市民アカデミア第VI期生)
- 木本 上子 (地球市民アカデミア第VI期生)
- 小林 真美 (地球市民アカデミア第VI期生)
- 坂井 謙 (地球市民アカデミア第VI期生)
- 佐藤 由規 (地球市民アカデミア第VI期生)
- 堀口 麻子 (地球市民アカデミア第VI期生)
- 舟山 遼平 (地球市民アカデミア第VI期生)
- 安田敬恵子 (地球市民アカデミア第VI期生)
- 横山 葉子 (地球市民アカデミア第VI期生)

1年間のカリキュラム

今年のキーワード：「未来」

国際協力という、高い壁の向こうの話を考えがちです。確かに私たちに多く地球社会問題は大きく、世界に対して何ができるのだろうかと思惑することもあります。けれど、それは本当にそんなに遠く、とらえどころのないほど大きなものでしょうか？社会は、未来は、自分たちでつくりあげられるものでないでしょうか？

第VI期地球市民アカデミアでは、これらの大きな問題を1つ1つ自分に引き寄せて考えてみます。地球、世界、国家、社会、個人それぞれの次元から、自分にとってのグローバルな課題を探していきます。未来の設計図を描くために、視野だけではない自分自身の動機を見つめましょう。

Unit



◆共に生きる
① 郡県にあるアジア学院で合宿を行います。「国際」を難しく考える前に、まず上や緑、命に触れてみましょう。仲間と山と会い、アジア・アフリカからの留学生と出会い、農作業を共にしながら、これからの課題・方向性を探っていきます。
講師：高見 敏弘氏 (地球市民アカデミア校長・アジア学院創設者)
② 合宿を振り返って話し合います。(会場：東京YMCA)
講師：堀井 高志氏 (桜井・法曹グローバル教育研究所)

◆「世界」と繋がる・「世界」の見える方
地球規模の課題が複雑に絡み合っています。今、私たちはどのような視点を持ってこれらの課題の解決に取り組むべきなのでしょう。ワークショップやレクチャーを通して、新しい世界の見方を見出していきます。
講師：中村 尚司氏 (筑波大学、著書「豊かなアジア、貧しい日本」学芸書院、「人々のアジア」岩波新書、他)

◆国際協力一國境を越えて活動する人々
国と国を越えて活動する人々がいる。世界が抱えている課題に対して、彼らはどのような姿勢を持って立ち向かっているのでしょうか。実際に現場で活躍された方々の話を交えながら、世界中で行われている国際協力の現状を学び、新たな視点を身につけます。
講師：磯田 厚子氏 (日本国際ボランティアセンター)
白戸 洋氏 (松岡学園短期大学)

◆私たちの社会の中のマイノリティは？
地球規模の課題と私たちの生活は、全く別の世界なのではないでしょうか。私たちの足元を見ると、以前までは遠くにあるように思えた問題が、実はごく身近に起きていることがわかります。その現状にどのように気づき、行動していけるのかをワークショップを通して自分の方で考えていきます。
講師：金野野氏「あむ・しんや」(財団法人神奈川国際交流協会)

◆問題はどこから来たのか
地球市民アカデミアから社会レベルまでを経て、最後に自分自身のレベルへ視点を持ちます。ここでは合宿でじっくり考えて話し合い、「問題は何か、どこから来たのか」を探求して後半の共働学習へつなげていきます。
講師：橋本 彰氏 (国際学院大学、著書「アパルトヘイトと日本」『南と北の子どもたち』亜紀書房)

◆共働学習 1～5
9月10日、9月24日、10月6日、10月22日、11月12日 (全5回、金曜日午後7時～9時)

◆プレゼンテーション合宿
11月27日(土)～28日(日)1泊2日

◆地球市民アカデミアから考える
11月7日(土)～9日(日)2泊3日
21月21日(金)19:00～21:00

◆世界レベルから考える
6月12日(土)10:00～18:00

◆国家レベルから考える
6月26日(土)10:00～18:00

◆社会レベルから考える
7月10日(土)10:00～18:00

◆個人レベルから考える
7月24日(土)～25日(日)1泊2日

◆共働学習 1～5
グループを作って共働学習を始めます。各グループの自主的な活動が中心になりますが、以上の日程でお互いの作業確認などを行います。

◆プレゼンテーション合宿
共働学習の成果を発表し、アカデミア修了後の自分の課題を見出す最後の集まりです。